

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	イージス		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 13日		R8年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42人	(回答者数) 35世帯
○従業者評価実施期間	R8年 1月 13日		R8年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児及びその保護者に対し自立に向けて、一人ひとりの特性や希望に合わせた支援が行えている	専門的(心理)支援や自立サポート支援、子育てサポート支援を活用している アセスメントや日々の支援を専門的な知識や経験を持つスタッフチームが対応している	型にはめる支援ではなく利用者児が個々のストレングスを伸ばしていけるように試行錯誤し、より適切な対応を探索していく
2	利用児及び保護者の満足度が高く、安心感をもって通所を楽しみにしてくれている	利用児の活動の様子や希望を保護者と共有することで同じ方向を目指した支援が行えている 個々の目標達成に必要なことを利用児と一緒に考えている	支援員一人ひとりが自己研鑽に努めることで利用児への対応力の幅を広げていく
3	障害児相談支援事業所や学校、関係機関との連携が密にとれており、多角的な支援ができています	誠実な支援を実行することで、さまざまな関連機関と信頼関係を築くことを心掛けている	セルフプランの家庭を含め、それぞれのご家庭が受けられる支援の幅を広げられるよう取り組んでいく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない	放課後児童クラブや児童館側に放課後等デイサービスと交流したいというニーズがないことと、利用児や保護者からも放課後児童クラブや児童館と交流したいというニーズがない	放課後等デイサービス企画のイベントや地域のこどもたちと一緒に参加できるイベントへの参加を計画する
2	事業所での非常災害発生に備えた定期的な避難や救出その他必要な訓練について	利用児はサービス支給量の関係で利用日や利用回数が不定期でバラバラであることから、利用児全員が事業所での非常災害発生に備えた定期的な避難や救出その他必要な訓練の実施日に全員が参加するわけではない	消防計画等で事業所での非常災害発生に備えた定期的な避難や救出その他必要な訓練は年2回の実施としているが、実施日でないに参加できない利用児も個別に実施していく対応が必要
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の周知徹底が十分でない	マニュアルが読めない利用児や来所機会が少ない保護者に対する周知が難しい	事業所内での掲示だけでなく定期的にSNSや書面で周知徹底することを試みる